

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程） カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学科では、高齢社会の到来、医療の高度化など、新たな医療・看護に対する社会の要請に
応え、広い教養基盤に支えられ看護実践力を備えた看護専門職を養成するための看護基礎教育を
行っています。また、保健師・助産師になるための選択履修科目をそれぞれ設けています。

教育課程は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の3群で構成し、さらに専門科目は「看
護の基礎」「特性と看護」「看護の発展と探求」の3段階に配置し、看護学を体系的に学習でき
るよう配慮してあります。

当学科では講義・演習・実習の授業形態を有機的に組み合わせ、段階的かつ系統的な教育によ
って、看護実践ができる人材の養成を目指しています。

看護学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキ
ュラムを編成しています。

①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態
度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

1. 看護職に必須な倫理を理解するために、看護の基礎となる科目として「看護学概論」「対人
関係論」を第1学年に、「看護倫理」を第2学年に配置しています。

2. また、医療チームの一員としての看護実践に備えるために、第1学年に「早期体験実習Ⅰ」
を、第2学年に「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。

②「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識） 幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

3. 文化・社会・自然等に関する幅広い知識を身につけ多様な価値観等に触れるために、教養科
目を一般基礎科目として位置づけ、個人の希望に合わせた履修選択ができるようにしています。

4. 専門分野を学ぶうえで必要な基礎的知識を習得するために専門基礎科目を設定し、その履修
を必修としています。生活体である人間を理解する基礎として、生物体である人間の特性を学
べるよう「生体観察実習」を配置しています。

5. 専門科目については、看護の基礎的知識を学び、人間の各発達過程の特性と看護とに関する科目を習得し、臨床全般の看護の知識を学べるよう配置しています。

6. 看護の学びを探求し生涯にわたって学習する出発点となる基礎能力を培うことができるように、第1学年から学んできた知識をさらに発展させた「在宅看護学」「がん看護学」「総合実習」を配置しています。

③「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」(技能・表現)

すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

7. 基礎的な看護技術を身につけるために第1学年から第2学年において「基礎看護技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を配置しています。また、看護への関心を高めるよう「基礎看護学実習Ⅰ」を、患者を担当し看護援助を行うことによって看護実践力を養うよう「基礎看護学実習Ⅱ」を配置しています。

8. さらに、第2学年に学んだ各領域別の看護学の知識を基に、第3学年には「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」「母性看護学」「精神看護学」「実践看護技術学Ⅰ・Ⅱ」の各演習科目を配置し、講義内容と関連づけて看護技術の学びを深め看護の実践能力を身につけることができるようにしています。

9. 第3学年から第4学年では看護学実習を行い、ライフステージの特徴や健康レベルを的確に把握し個別的看護実践に結びつけることができるようカリキュラムを展開しています。

10. 第4学年には夜間の実習や複数の患者を担当するなどの「総合実習」を配置し、看護の実際の体験を通して看護実践力をより向上できるようカリキュラムを展開しています。

④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」(思考・判断)

研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

11. 個人や集団の健康現象を論理的に思考・判断することができるように、第1学年には、保健師・助産師選択者にも必須の科目である「健康教育論」「地域看護学」、第2学年には「看護過程論」、第3学年には「保健医療福祉システム論」などを配置しています。

12. 獲得したさまざまな知識を用いて看護の現実問題の解決に取り組むことのできる素養を身につけるために、第3学年に「看護研究Ⅰ・Ⅱ」、第4学年に「卒業研究」を配置しています。

⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」(意欲・関心)

地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通して課題を解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

13. 北海道の医療ニーズを探索するための実習科目として「早期体験実習Ⅰ・Ⅱ」を第1学年と第2学年に配置しています。

14. 看護実践や看護研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献することが可能となるよう、第3学年に「英語文献講読」「保健医療福祉行政論」、第4学年に「国際保健看護論」を配置しています。